

西谷コミュニティだより



深めよう

地域連帯の輪

「西谷地区まちづくり協議会とは」

西谷地区まちづくり協議会

会長 辻 博 見

西谷地区の皆様におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

西谷地区まちづくり協議会の活動に深いご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

本年4月より、前坂前会長様より大役を引き継がせていただく事になりましたが、何分にも未熟な者でござりますので何卒ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申します。

今回は、西谷地区まちづくり協議会の目的と活動についての説明をさせていただきたいと思います。

目的としては、高齢化社会及び生涯学習社会を迎える西谷地区に居住する住民相互の交流と住民全体の文化・情報・学習・健康増進・福祉活動・環境美化活動、その他地域事業を促進し、新しい連帯感のある地域コミュニティづくりに寄与するために平成6年7月に発足したものです。

西谷地区内26の各種団体と56名の各団体代表者で構成され、7つの部会がすでに活動をしており、本年は西谷の郷土史第3集完成への事業をはじめ協議会全般の運営及び行政との交渉等を担当する「総務部会」、情報・文化の伝達を行う「広報部会」、青少年育成、ふるさと祭り等文化催しを開催する「青少年・文化部会」、人に優しくふれあいの「福祉部会」、人権の尊重と差別を無くする「人権啓発部会」、安全で安心な生活をめざす「自主防災部会」、健康で明るく楽しく人生をおくるための「健康スポーツ部会」。以上の各プロジェクトのメンバーがより多様化する現状をふまえ、住みよい暮らし、快適な地域に、それをの特性を活かし積極的に活動を推進してまいります。皆様方にも多くご参加をいただき、より一層活力のある地域づくりをめざして思っていますので今後ご指導とご協力をお願い申し上げます。

青少年・文化部会

長引く経済不振の中で、光明の見出せない社会情勢が、私たちを取り巻く生活環境(価値観や思考様式など)を大きく歪めつづあるのではないでしようか。

今や、大人も子ども達も気持ちに余裕(ルールを守ることや我慢することなど)が持てなくなっているのではないかと危惧されます。

青少年にとって一番不幸なことは模範となるべき人たちが自分の周りに見つけられないことではないでしょうか。

私たち大人が、自分本位の行動に走らず、周囲の者の気持ちを汲み取り、青少年の目線で物事を見て感じて一緒に考える気持ちの余裕を持つことが、次代を担う青少年の育成に繋がっていくものと思います。

今後は、文化、スポーツ、娯楽等の活動交流を通じて支え合い、励まし合い、ともに楽しめる「場づくり」を模索していきたいと考えています。皆様のご指導とご協力を心よりお願いいたします。

◎地域自治会長等各団体役員の同和問題研修会(7月7日)

◎西谷小児童、西谷中学校生徒を対象として人権啓発の標語、ポスター、作文の募集(7月~8月)

◎「西谷ふるさと祭り」にて人権啓発のPR(7月21日)

◎西谷小学校区人権啓発市民集会の開催(11月17日)

◎西谷小児童、西谷中学校生徒を対象として人権啓発の標語、ポスター、作文の募集(7月~8月)

◎「西谷ふるさと祭り」にて人権啓発のPR(7月21日)

みんなでもりあげましょう
西谷ふるさと祭り
 ☆7月21日(土)15:00~
 ☆西谷小学校校庭

 内容については有線放送、新聞折込
 でお知らせします。お楽しみに!



人権啓発部会

私たちの部会は人権問題、同和問題を推進していく部門です。

世界人権宣言は基本的人権を守るために、主権在民、法の下での平等、所有権の不可侵等々、2000余年の歴史があります。日本では戦後になって民主主義教育の下で基本的人権が叫ばれてきました。しかし今日、学校、家庭、社会等人の集まる所で人権を無視した悲しい事件の連続です。人権啓発部会は、人間が人間として生まれながらに持っている権利の尊さを知つてもらい、理解してもらうために次のとおり活動を計画しています。

◎地域自治会長等各団体役員の同和問題研修会(7月7日)

◎西谷小児童、西谷中学校生徒を対象として人権啓発の標語、ポスター、作文の募集(7月~8月)

◎「西谷ふるさと祭り」にて人権啓発のPR(7月21日)

◎西谷小児童、西谷中学校生徒を対象として人権啓発の標語、ポスター、作文の募集(7月~8月)

◎「西谷ふるさと祭り」にて人権啓発のPR(7月21日)

◎西谷小児童、西谷中学校生徒を対象として人権啓発の標語、ポスター、作文の募集(7月~8月)

◎「西谷ふるさと祭り」にて人権啓発のPR(7月21日)

◎西谷小児童、西谷中学校生徒を対象として人権啓発の標語、ポスター、作文の募集(7月~8月)

◎「西谷ふるさと祭り」にて人権啓発のPR(7月21日)

今後の取り組みとして、防災組織の編成、任務の分担、連絡網の作成、防災知識の普及、情報の収集・伝達等で、災害が発生した時の救出救護、避難誘導、非常食及び飲料水の配給活動等に取り組むことになっています。あくまで互助の精神とボランティア精神を持って、西谷住民の安心と安全の一助となりたく思っています。各地区の自主防災会においても同様の目的及び計画の下に結成されていると思います。今後は各班ごとに検討会や消防職員の方のご指導をいただきながら、万の時に機能できますように努力していきたいと思っていますので、皆様の温かいご協力を願い申し上げます。



元気印の仲間たち

19

元気弾の仲間たち

元気弾の仲間たち

361のマス目を見つめながら一局一局を楽しんでおります。
畠碁は別名陣取合戦ともいわれています。対局者はお互いにどうすれば相手より多くの陣地が取り込めるか、又、有利に戦いが進められるかに思いをこらして対局しております。このため、盤上では様々な手筋でアツと驚くような変化が生じ、このスリルが他の競技では味わえない魅力ともなって、一旦始めれば止められないのが畠碁といたします。

私たち仲間は、今後も楽しんで対局することを生き甲斐に元気百倍精進していきます。

昭和62年、西谷翫碁同好会が設立されて今年で15年目を迎えました。初代会長に辻治右衛門さんが就任されてから今日まで続いていることは、会員（現在24名）のご協力が得られた結果だと感謝しております。

盤上の

スリルを楽しむ



対局中にちょっと失礼してパチリ。
「こんなもんでもよろしまっか」「はい、結構です。ありがとうございました」（広報部会）

「人権と共生の世紀」に向けて

祖元

揭 示 板

地域同和教育活動推進員

宝塚市教育委員会より委嘱された8名が活動しています。

同和教育の本質は部落差別の完全解消を中心課題として、年令、性別、民族、国籍等をもとにした差別や偏見のない人権尊重の社会を創ることにあります。

人権尊重の社会を創生していくには、地域に住む一人ひとり習慣や考え方の違いを認め合い、「差別と人権」の関係を正しく理解することが必要だと思います。

21世紀は「人権と共生の世紀」と位置づけられ、国内においては「人権教育及び人権啓発推進に関する法律」が施行されました。宝塚市においても「人権尊重都市宣言」「人権啓発基本方針」に基づいて具体的な啓発活動が進められています。

私たちもその主旨に応えるべく、同和問題と人権問題は住民共通の課題として、まちづくりの中に位置づけていく推進活動をしたいと思っています。

(住家 勇)

健康スポーツ部会
平成12年度西谷コミュニティ総会において健康・スポーツ部会が作られ、地域スポーツの振興事業部会として発足しました。昨年度、兵庫県地域スポーツ活動支援事業「スポーツクラブ21ひょうご」の適用を受け、「スポーツクラブ21西谷」を設立しました。

いい意味での井戸端会議もいじね。子どもをどのように守るか…開かれた学校とは…今こそみんなで心を開いて話し合ふ時ではないだろうか。お互いに関心を持つて安全な西谷にしたじもの。問題点を一つでも解決できるところと思ふ。

家庭から近所、地域、社会へと広がる
「ふれあい」の場。そんな場所での人
とのふれあいを大切にしたい。人を思
いやる心はこんな一言から始まると思
う。おはよう、にんにわば、おやすみ、
いただきます、いつてきます、ただいま
ま、おかげり、ありがとう…短いけれ
ど大切な一言。
(Y)

子どもは親の言うとおりには育たず、親のするとおりに育つものだと聞いたことがあります。子ども達はいつも人の後ろ姿を見ています。（K）

農免道路に面した産業廃棄物の山をいつも横目に見ながら、何事が起これば恐いと思っていました。ようやく、業者が摘発されて捜査のメスが入りましたが、完全撤廃までには時間がかかりそうです。西谷の住民として注意深く経過を追う必要があります。同時に、西谷のあちこちで日につくようになつた不法投棄されたごみについても、法によつて規制されていることをしっかりと理解し、自分の所有地がごみの山にならないように注意、管理することも必要になります。(F)

物を捨てる時、なにげなく捨ててしまつていませんか？もう一度その物が活躍できる場所がないか考えてみましょう。

惠まれた自然の下、安心して過ごす事のできる地域社会の創造のためにも、家庭と地域ぐるみの密なる連携が望れます。今こそ皆様の様々な意見をお寄せいただき、豊かで活力ある私たちの広報となりますようお願いいたします。

広報部会

